



教市立小川小学校

# 小川っ子だより

## 第3号

平成30年5月30日

お・・思いやりのある子

が・・がんばり続ける子

わ・・わかる喜びを感じる子

### 授業参観を通して～子どもの成長の実感と学校の取組の理解を～



田んぼには苗が植えられ、風が吹くたびに、苗が揺れ動いている今日この頃です。早いもので1学期の折り返し地点を迎えました。これから梅雨に入り、しばらくは天候不順で体調を崩しやすくなります。また、6月12日にはプール開きを迎え、水泳学習も始まる時期でもあります。健康管理には十分留意していきたいものです。

#### 【ありがとうございました～授業参観・ふれあい活動・環境美化作業】

5月13日には、1校時の授業参観に続き、雨天のためのふれあい活動と室内環境整備作業にも多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。子ども達は、保護者とも一緒になって転がしドッジボールができたことをとても喜びました。また、室内環境整備作業では、日頃できにくい窓ふきをしていただき、きれいな教室環境の中で学習できるようになり、大変うれしく思います。雨の中の作業もありがとうございました。



授業参観は、子ども達にとっては、緊張感がありながらも、保護者の皆さまが参観してくれることを楽しみにしているようです。また、低学年では、保護者の顔を見るとホッとするようで、見守ってもらっていると安心して授業を受けることができます。

保護者の皆様は、教室や廊下などの掲示物や子ども達の授業での様子を見られ、どのようなことを思い、どのようなことを感じていらっしゃるでしょうか。

#### 【授業参観～子どもの成長発見と親子交流の場】

『授業参観は、お子様の学校での様子を実際に見ていただく大切な機会である。また、わが子の頑張りとともに、他の子どもたちの頑張っている姿、子ども同士の間関係も見ただけの貴重な行事である。そして、授業の様子や掲示物などを通して、学校の取組を理解していただく絶好の機会である。』と、小川小学校では捉えています。



ここで、授業参観を10倍価値ある物にする方法を紹介します。それは、『授業参観では、ぜひ、お子様の“良い面”に視点を当ててください。話を聴く態度、発表の様子、一生懸命考える姿…など、成長していることをしっかり捉える』ことです。家では見せない自立した姿がそこにはきっとあるでしょう。そして、その日の夜に、家で、保護者の皆さまが感じられた良い面についてお話してください。その言葉で、お子様の自尊感情や自己有用感がどんどん高まり、翌日の学校生活から変化があらわれます。また、自信につながり、意欲的になります。また、自分とは違う他の人の良さも認めることができるようになっていきます。そうすると、これまでよりも人間関係(友達関係)をうまく築くことができるようになっていきます。



#### 【人権教育参観日へのお誘い】

次回の授業参観は、6月13日の人権教育参観日です。講演会もあります。〔講師 阿波 ひろみ 様 演題「きらきら命と心～産まれてきてくれてありがとう」〕上記の視点(子どもの良い面)で授業参観をし、親子が一緒に講演会を聴き、「命の大切さ」「思いやりの心」等について、ぜひ親子で語り合ったいと思います。この子どもの成長への思いをもとに、7月19日に行われる個人懇談で、担任と一緒に、子どものよさを認めより良い成長のための働きかけの機会へとつなげて欲しいと思います。